



「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社: 童心社)

こんな本だよ

哲哉という四年生の男の子が主人公で、自分のノートでお母さんの取扱説明書を作るおもしろいお話です。

「ねぼづしたときにしかられない方法」や、「勉強勉強と言わせない方法」など、たくさんのおもしろいお話が書いてあります。

おもしろいので、読むきかいがあつたらぜひ読んでみてください。

この本のこころがすき!

わたしが、「かあちゃん取扱説明書」という本で一番好きなお話は、「サイテーな授業参観」というお話です。

哲哉が授業参観の日に、お母さんは、「しごとで見に行けないの。ごめん。」と言っていて、哲哉はラッキーだったのに、一時間目がはじまって二十分ぐらいたったとき、目線をずらすとなぜかかあちゃんが出て、そのうえ、家にたくさんのおもしろい場面があるお話です。

本の名前

かあちゃん取扱説明書

本を書いた人

いとう みく(作) / 佐藤 真紀子(絵)

おもいもかけない展開、このあと
どうなってしまうのだろうと思うと
ページをめくる手が止まらなくなるね。

